調 査 書（Cコース） 作 成 上 の 留 意 事 項

中学校長は、正確公正を期して調査書を作成するため、校内に調査書等作成委員会を設置すること。

調査書の作成に当たっては、所定の生徒指導要録等に基づいて、生徒に関する客観的な資料となるよう十分留意すること。

Ⅰ　記入上の全般的注意

1　調査書の作成に当たっては、本校ホームページに掲載されている本校指定の様式用いる。また、手書きの場合は黒ペンを用いる。ただし、鉛筆書きした原本を複写してもよい。

2　令和９年３月卒業見込みの者の調査書には、令和９年１月３１日までの事項を記入する。なお、調査書の発行日は、令和９年２月１日以降（２月１日を含む）の日付とすること。

3　数字は、すべて算用数字を用いる。

4　誤記を訂正する場合は、消しゴム、ナイフ、修正テープ等を用いず、記載責任者が訂正箇所を二重線で消し、訂正印を押して訂正する。

5　※№の欄は記入しない。

6　生年月日の欄については、「昭和」、「平成」のいずれか一方を、卒業年月の欄については、「平成」、「令和」のいずれか一方を記入する。

7　卒業年月欄の右隣の欄については、「卒業見込」、「卒業」のいずれか一方を記入する。中等教育学校前期課程においては「修了見込」、「修了」のいずれか一方を記入する。

8　調査書等作成委員会の欄には、記載責任者印を押印する。

9　作成した調査書は、必ず印刷をした上で生徒指導要録等の原本と相違ないかを複数の担当者で照合、確認すること。ただし、氏名については常用漢字に置き換えて記入する。

Ⅱ　各欄記入上の注意

1　「各教科の学習の記録」の欄について

１年から３年までの評定を生徒指導要録等に基づき**５段階**で記入する。※の縦の欄は記入しない。

2　「総合的な学習の時間の記録」の欄について

学習活動及び学習評価の観点の中で顕著な事項や成長の様子を生徒指導要録等に基づき総合的に記入する。

3　「行動の記録」の欄について

第３学年について記入する。項目ごとにその趣旨に照らして「十分満足できる状況であると判断される場合」に、〇印を記入する。

4　「特別活動等の記録」の欄について

特別活動等における生徒の活動状況について、該当する事項を適宜番号で示し、事実及び所見を記入する。

5　「スポーツ活動、文化活動、社会活動、ボランティア活動の記録」の欄について

上記各分野のいずれかにおいて、次の（1）～（4）に該当する場合は、その内容を具体的に記述する。該当しない場合には斜線を引くこと。

（1）　スポーツ活動

校内外の活動において、特に優れた体育的能力を有する者（これまでの中学校体育連盟等の運動競技会において、県大会以上の大会で優秀な成績をおさめる等）

（2）　文化活動

校内外の活動において、特に優れた文化的能力を有する者（これまでの芸術作品展示会や発表会等の文化的活動において、県大会以

上の大会で優秀な成績をおさめる等)

（3） 社会活動

中学校または中学部の特別活動等において、継続的に活躍するなど、特に優れたリーダー性を有する者

（4） ボランティア活動

校内外において１年以上の長期間にわたり奉仕的活動に携わり、その活動が特に顕著であると認められる者

6 「特記事項」の欄について

この欄には、次の項目で特記すべきことがあれば、該当する事項を番号で示し、生徒指導要録等に基づき記入する。

（1）就学中の転・編入学に関すること

（2）各教科の学習状況に関すること

（3）行動の記録に関すること

（4）健康状態に関すること

（5）進路に関すること

（6）その他

7 県外からの出願者、過年度卒業生の出願者、特別支援学級からの出願者、については、右上の□の中に、それぞれ**県外、過卒、特支**と記入する。例えば県外から過年度卒業生が出願する場合は、**県外・過卒**と記入する。

Ⅲ その他

1 記載内容について特別な事情がある場合は、副申書を添付することができる。

2 令和３年３月末日までに中学校または中学部を卒業した者については、生徒指導要録の「学籍に関する記録」に相当する内容のみ記入する。ただし、記入しない欄は斜線を引くこと。

なお、卒業証明書をもって調査書に代えることができる。